

2014.8.20

ハマナス再生プロジェクト進行中

ハマナス再生園の整備

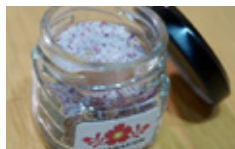
昨年移植を行った南西側のエリアで、今年6月、一面にハマナスが開花しました。今年は、ハマナス再生園中央部の移植・整備や園路の敷設に取り組んでいます。はまなすサポーターはじめ、はまなすフェスティバル来場者、市内の小中学校や幼稚園など多くの方がハマナス苗の移植に取り組んでいます。

ハマナス再生園見取り図



ハマナスの食や美容への活用 そして保全

ハマナスの花びらや果実には、ビタミンCやポリフェノールなどが豊富に含まれ、美容や健康増進に大変効果があると言われています。このようなハマナスの効用を活かしたスイーツやコスメ、またかわいらしさをデザインしたグッズが考案され、6月28日に開催された「はまなすフェスティバル」でお目見えしました。このようなハマナスの活用を通じて、ハマナスやその自生地の保護保全の大切さを多くの人に知ってもらい、自然と共生した地域づくりにつなげていくことを、ハマナス再生プロジェクトは目指しています。

●ハマナスティー
(いしかり海辺ファンクラブ)●ハマナスの香りぶるんバーム
(ラ・ターブルペール)●ハマナスハーブソルト「ハマナシオン」
(ハマナスプロジェクト)●ハマナス花弁入焼菓子
(藤女子大学・伊井ゼミ)●ハマナス刺繍入りポーチ&がま口
(いとはりおしごと)●ハマナスパイ
(パン菓子工房バーケーリー)

はまなすサポーターさん増えています！

ハマナスの苗を持ち帰り自宅で育てていただく「はまなすサポーター」に参加するメンバーが増えています。今春発芽した苗を受け取ったサポーターさんのお宅では、すくすく育っています。それらの苗は9月20日(土)「はまなす広場」(4ページ参照)に持ち寄り、移植する予定です！



▲ 5月、発芽して3週間程度の苗 (2cm程度)



7月、10cm程度に成長した苗 ▶

イソスミレの群生に魅せられ、調査に没頭

【きっかけは・・・】

2007年、石狩浜海浜植物保護センター（以下センター）主催「ふるさと自然塾」受講の際、普段木道からは観察できない、はまなすの丘公園（石狩川河口砂嘴・以下砂嘴）中央部で見たイソスミレの群生に強く心を打たれ、ここに自生するイソスミレのことをもっと知りたいと、センターの許可を得て自主調査を行うこととしました。

下調べをする中で、1989年の植生分布図（石狩川河口植物調査報告）を目にし、当時の分布と今の分布が違っていることにも気が付きました。変化の実態を明らかにしたいと、当時の調査区画の復元を、2007年、センターとともにおこないました。

【調査は・・・】

2008年から、イソスミレの分布状況の把握のために、砂嘴をくまなく踏査しました。1989年の分布図と重ねると、当時はなかった群生が見つかる一方、あったはずの群生がなくなっている箇所も確認しました。また、ハマボウフウ、ハマナス、ススキの分布の変化にも興味がわき、あわせて調査しました。方法等はセンターと相談しました。

調査は自分のペースを重視し、一人でおこないました。自分でポールを立てて調査区画を識別し、その中の生育状況を調べました。生育状況の判定・記録よりも、50mメジャーを移動させ、ポールの運搬と正確な打ち込みなどの反復作業に多くの時間と労力を費やしました。

イソスミレは、2010年から分布箇所をおさえ、2012年、2013年、分布箇所ごとの株数をカウントしました。大群生については妻の協力を得ながら、砂嘴全体で1万株以上をカウントしました。これにより、砂嘴先端側で減少、海側砂丘部で増加、木道周辺部では維持されている傾向にあることが明らかになりました。また、ハマナスは海側へ分布を広げていました。ハマボウフウは浸食により海側の分布が大きく減少していました。ススキは広域に分布を広げていました。



「活動7周年メモリアル展」の様子

花砂丘仕事人
寒河江洋一郎さん

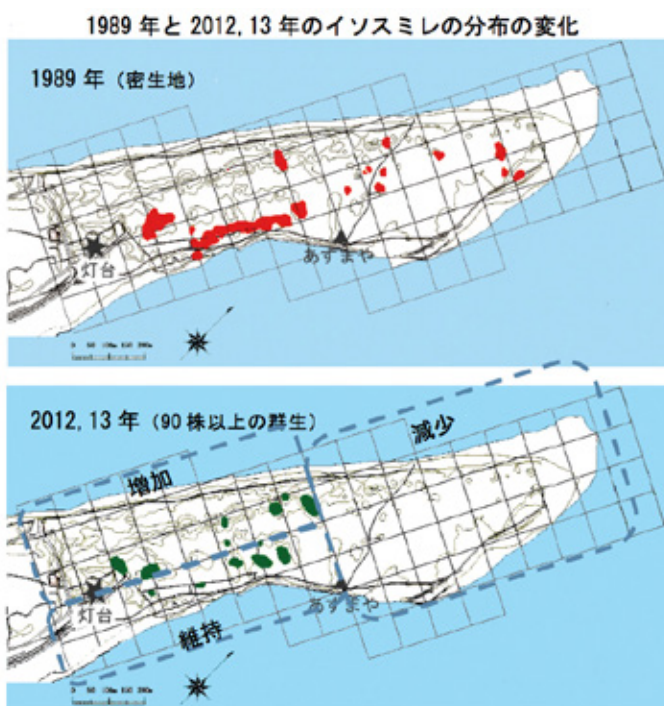


【おもいは・・・】

はまなすの丘の特に海側砂丘部は、素晴らしい海浜植物の群生地。ここでは植物たちが気象や地形の影響を受けながらダイナミックに動いています。浸食で失われた植生が、数年かけて新たに再生してくる現場も目にしました。一方で一度削り取られた植生が何年待っても同じ状態には戻ってこない現場も見えています。個々の植物の美しさだけでなく、植物を群落でとらえ、その動きを追っていくことに面白さを感じています。予備調査も含め5年を経た調査の結果は、この春、センターと共著でまとめ、いしかり砂丘の風資料館紀要に寄稿しました。

【記録写真は・・・】

記録を主目的に、写真も撮ってきました。大群生の揃（そろ）い咲きは、まるで花の絨毯（じゅうたん）だし、植物や動物の意外な姿も興味深い。みんなに知ってもらいたく、これらの写真は「活動7周年メモリアル展」として、7月末まで海浜植物保護センターで展示しました。展示は終了後もファイリングし、センターで見ることができる予定です。大きな調査は一段落としましたが、イソスミレやハマナスの動態が気になるので、これからも定期的に足を運びます。





ハマナスのいろいろな魅力を堪能！

第2回はまなすフェスティバルが開催されました

6月28日（土）、第2回はまなすフェスティバル（主催：はまなすフェスティバル実行委員会 共催：石狩浜海浜植物保護センター）が開催されました。

第2回のフェスティバルは、第1回で同時に行った「はまなすセミナー」と「フォトコンテスト展示」を別日程としたので、保護センター館内を展示や試食、体験の会場として有効に活用する事が出来ました。また、いしかりガイドボランティアの会の皆さん、藤女子大学、北海道医療大学の学生さん、石狩中学校の生徒さんなど新たな方々がスタッフとして参加されました。

保護センター館内では、はまなすフローラルウォーター香り体験、ハマナスポストカードの無料配布、試食・試飲（はまなすジャム、はまなす炊き込みご飯、はまなすティー）、展示・販売（はまなすモチーフ手作りグッズ、はまなすの根の草木染め）、藤女子大学などのコーナーを設けてはまなすの魅力をとことん体感して頂き、子供さん達には、はまなすポプリと葉っぱのスタンプ絵葉書作り体験や「みんなで作るはまなすの大きな絵」コーナーで楽しんで貰いました。

また、セミナー&ワークショップとして、尾形優子

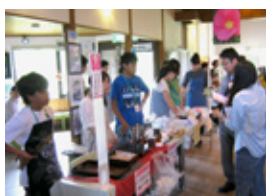


さんによるハマナスの美容効果についてのレクチャーとハンドクリーム作りの30分講座を3回開催しました。

館内で観覧・体験した後は、見本園でハマナスクイズラリーに挑戦し、さらに再生園でハマナス苗の移植を体験して貰いました。また、屋外では「いしかりこだわりフードフェア」として8店が出店し、それぞれのブースで石狩産こだわり食品をアピール。はまなすフェスティバルは、天候にも恵まれ大好評でした。



館内にはブースがズラリ！



はまなすティーも大人気！



藤女子大のケーキは大注目！



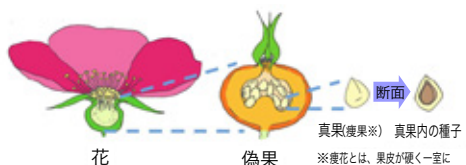
はまなすポプリ作りは常時満席！



フードフェアでお腹も満足！

コラム ハマナスの実をわってみる

ハマナスの赤い実を割ったことがありますか？おいしい赤い果肉部分はわずかで、中には白い5mmくらいの粒々があります。白い粒粒は一見種子（しゅし）のようですが、これは果実（かじつ）です。種子（しゅし）は、この中に一粒入っています。赤い果肉部分は「偽果（ぎか）」と言い、白い粒粒が、子房（しぼう）がふくらんでできた「真果（しんか）」です。赤い果肉部分を刻み、砂糖と合せて煮詰めると、甘酸っぱい独特の風味のジャムに仕上がります。ビタミンCも豊富で、美容にもよいと言われています。親子で挑戦してみるのもよいでしょう。（内藤華子）



トピックス 保護センターで草笛コンサート！？

6月25日に保護センターを訪れた静岡県浜松市在住の溝口忠博さんは、全国草笛ネットワークの事務局を運営されて草笛の普及に努めていらっしゃるようで、急遽、奥様の照代さんと一緒に演奏を披露していただきました。いつも携帯されている「シロダモ」の葉で唱歌の「ふるさと」を見事に奏で、その素朴な音色はとても懐かしい響きでした。



お知らせ

平成26年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

海浜植物保護活動に尽力された**阿部義孝さん**（石狩市緑化推進協議会顧問）が受賞

四半世紀にわたる、石狩浜での海浜植物の保全、普及啓発活動の功績が認められ、今年5月16日に伝達式が行われました。

阿部さんは、石狩浜海浜植物保護センターの設立に尽力され、植物発芽育成手法のノウハウや、数多くの植物写真をセンターに寄贈いただきました。現在も、石狩浜で増えている外来植物除去等景観保全作業の指導にあたられ、海浜植物群落の保全に効果をあげられています。



9月5日(金) 10:00~15:00

(はまなすサポーター事業)

はまなすの丘公園を歩く

午前：はまなすの丘公園散策
午後：スライド鑑賞、苗移植&除草
集合場所：はまなすの丘公園
ビジターセンター駐車場
対象：一般
定員：10名
参加費：無料
※昼食持参。午前のみ、午後のみ参加も可。歩きやすい服装でご参加ください。
締切：9月3日（水）
主催：はまなすフェスティバル実行委員会

9月13日(土) 8:30~15:00

フットパスツアー

秋の石狩海岸を歩く

銭函市街を抜け、自然あふれる石狩海岸を歩きます。全歩行距離10.5キロ。
集合場所：札幌駅北口バスターミナル8:30
石狩市役所 9:15
持ち物：昼食、飲み物、雨具
※歩きやすい服装でご参加ください
対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴）
定員：30名／参加費：300円
締切：9月5日（金）
主催：いしかり海辺ファンクラブ

9月16日(火) 10:00~11:30

第6回いしかり海辺カルチャートーク 漁師さん直伝レシピ 石狩の旬の魚を美味しく食べよう

元漁師さんに魚の捌き方や美味しい味付けのコツを習います。昔の漁の話も伺います。
開催場所：カフェマウニの丘
(石狩市弁天町番外地)
対象：一般、小学生以下保護者同伴
定員：20名
参加費：700円
(材料費込み。飲み物、ケーキ付き)
締切：9月12日（金）
主催：いしかり海辺ファンクラブ

9月20日(土) 10:00~15:00

(はまなすサポーター事業)

はまなす広場

ハマナスの実でジャム作り、軽食、ミニレクチャー、苗移植&播種&除草
開催場所：石狩浜海浜植物保護センター
対象：はまなすサポーター、一般
定員：20名
参加費：大人500円／子供(小学生以上) 300円
持ち物：ジャム作り用小さいスプーン、果物ナイフ、
屋外作業用手、スコップ、苗(育てた方)
締切：9月15日（月）
主催：はまなすフェスティバル実行委員会

9月23日(火) 9:00~12:00

石狩 秋の野鳥観察会

市内で野鳥観察を行います。
集合場所：石狩市役所
集合時間：8:45
※野外で活動しやすい服装でご参加ください
対象：小学生4年生以上
定員：30名
参加費：大人300円／中学生以下100円
締切：9月19日（金）
主催：石狩市環境保全課
※このイベントの問い合わせは環境保全課
(0133-72-3269)へお願いします。

10月18日(土) 9:00~16:00

石狩湾岸、 サケをめぐるバスツアー

遡上を迎えるサケの観察を中心に、札幌、石狩周辺でサケめぐりツアーを行います。
集合場所：札幌駅北口バスターミナル8:45 (9:00出発)
石狩市役所 9:30 (9:45出発)
持ち物：昼食、飲み物、雨具
※歩きやすい服装でご参加ください
対象：小学生4年生以上
定員：30名／参加費：無料
締切：10月15日（水）
主催：石狩湾自然史ネットワーク
※このイベントの問い合わせは環境保全課
(0133-72-3269)へお願いします。

10月21日(火) 10:00~11:30

第7回いしかり海辺カルチャートーク 石狩浜の植物を撮り続ける

石狩浜定期観察の会 写真担当のお二人に撮影のポイントやコツ、撮影秘話を伺います。
開催場所：カフェマウニの丘
(石狩市弁天町番外地)
対象：一般、小学生以下保護者同伴
定員：30名
参加費：300円（飲み物、ケーキ付き）
締切：10月18日（土）
主催：いしかり海辺ファンクラブ

10月25日(土) 10:00~12:00

(ボランティア募集)

はまなすの丘景観保全作業

はまなすの丘周辺の外来種などの除去作業を行います。
※屋外作業ですので、帽子、軍手などを着用し、動きやすい服装でご参加ください。
集合場所：はまなすの丘公園
ビジターセンター駐車場
集合時間：9:50
参加いただける方は、人数把握の為、9月4日（木）までに石狩浜海浜植物保護センターにご連絡ください。

**9月24日(水)、25日(木)
10月2日(木)
10:00~14:00**

(はまなすサポーター事業・
ボランティア募集)

はまなす再生園整備作業

ハマナス再生園の除草&移植&苗づくり。一緒に汗を流しませんか？時間中いつでも自由にお越しください。申込不要・定員なし。
場所：石狩浜海浜植物保護センター
持ち物：軍手、スコップ、昼食（必要に応じて）
主催：はまなすフェスティバル実行委員会

発行・問合せ・申込み

● 編集：いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センター (開館期間 4/29~11/3、開館時間 9:00~17:00) 毎火曜定休(祝日の場合翌日休)

〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(休館日は以下へ)

石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当

〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269

E-mail : ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>